

平成20年度第4回（第8期第4回）小平市廃棄物減量等推進審議会
会 議 次 第

平成20年12月10日（水）
午後2時 ～
市役所6階 大会議室

- 1 開会
- 2 小平市のごみの現状について事務局報告
- 3 諮問事項の審議及び今後のスケジュールについて
- 4 事務局報告
- 5 その他
- 6 閉会

配付資料

- 1 小平市清掃事業概要 平成20年度版（平成19年度実績）
 - 2 ごみに関するイベント一覧表
 - 3 第8期 小平市廃棄物減量等推進審議会審議日程（案）
-

- 会長
事務局 まず始めに事務局から小平市のごみの現状について説明願います。
一ごみと資源に関する窓口配布物、小平市ホームページ資料、平成 20 年度清掃事業概要について 1 時間ほどの説明を行う—
- 会長
委員 説明について質疑を行います。
清掃事業概要の 22 ページの組成分析結果の可燃性成分のちゅう芥と合成高分子化合物とはどういうものですか。また、市のごみに関する条例に違反したことによる告発をしたことがありますか。
- 事務局 ちゅう芥とは主に生ごみのことで、合成高分子化合物とはプラスチックのことです。小平市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例違反による告発をしたことはありません。
- 委員
事務局 購入補助した生ごみ処理機利用者の追跡調査をしていますか。
補助金交付実績から過去 7 年間、200 人ほどを対象にアンケートを行っています。調査結果がまとまり次第、ホームページに掲載する予定です。
- 委員
事務局 清掃事業概要 21 ページの動物の死体処理のことですが、市では引き取らないものと思っ
ていましたが若干引き取っていますね。
野良猫が主で、猫ぐらいの大きさまでを取り扱っています。市民から相談があれば受付をしています。
- 委員
事務局 ごみ出しマナー違反や不法投棄について対策を行っていますか。
例えば、曜日を守らない、分別していないごみについては収集委託業者に黄色い警告シールを貼ってもらい、回収しないというを行っています。また、職員がパトロールを行い、現場で指導をしています。また、年 2 回、廃棄物減量等推進員（愛称：クリーンメイトこだいら）さんと協力して不法投棄の監視を定期的に行っています。
- 委員
事務局 清掃事業概要 36 ページのリサイクル推進事業で行政回収と集団回収の割合について、市報以外では集団回収についてどのような PR をしているか。
集合住宅の管理人に説明したり、ごみに関する説明会で宣伝したりしています。
- 委員
事務局 清掃事業概要 21 ページの粗大ごみの収集について、平成 15 年度から比べると収集量が増えています
が、これ以外に不法投棄されたものはどうなりますか。
粗大ごみ処理シールを貼らずに市の管理する集積場に出されている物については警告シールを貼り、一定期間様子を見ています。不法投棄された場所によって、その場所の敷地管理者の責任で処理することになります。不法投棄の場所が集合住宅であればその住宅の管理者の責任で処分してもらうことになります。不法投棄の場所が市道上であれば市の管理責任となります。
- 委員
事務局 回収した資源物の売却金額が暴落している状況についてはいかがでしょうか。
例えば、中国に輸出されたペットボトルについてはその繊維でおもちゃをつくりアメリカに輸出していましたが、アメリカの景気悪化で売れなくなり、中国のペットボトルが余剰してしまい、日本からの輸出がストップしている状況です。小平市でもペットボトル売却単価の契約変更がされる予定です。古紙も大変な状況のようで鉄、アルミの値も下がっています。
- 委員 大学生、専門学校生の住むアパートなどではごみ捨てに無頓着であるため、学生にごみに関する知識を持ってもらいたいと思います。小中学生は授業を通して分別について理解しているが、大学生向けにパンフレットを配ってはどうか。地方から越してくる大学生が多く、分別も地方ごとの方法になっている。自分で学生向けアパートに分別チラシを配布していますが、市では大学のオリエンテーションに参加して分別の説明などを行っていますか。

- 事務局 今のお話はまさに今後審議いただきたい内容だと思います。キーワードになる内容ですので、今後話を拡げていただきたいと思います。
- 委員 学生マンションを経営していますが、分別ができていない学生が多く、管理会社が分別しています。食べ物を買ってきたそのままの状態でごみに出していたり、啓発看板を貼り出していますが、なかなか分別してくれません。
- 委員 地方によっては分別がない場合があったり、分別方法が地方ごとに違ったりします。学校によっては可燃不燃の分別をせず、産業廃棄物扱いで捨てることもあるようです。
- 会長 いまどきはコーヒーを自分で入れられない学生がいます。分別も大切ですが、食育も大切です。
- 委員 学生がアパートを引き払う際、家具やふとんをすべて捨てて行きます。
- 委員 事業系ごみは分別しないと中間処理施設に入れられないはずですが。産業廃棄物にも関連があると思います。東京都内では燃えるごみの分別が変わっているため、都内から越されて来た場合、市の分別とは異なることになります。
- 委員 近所の集積場でトラブルがあり、警察沙汰になったことがあります。市で介入してもらえないもののでしょうか。また、周辺の市では戸別収集になっています。
- 事務局 市内に6000ヶ所の集積場があり、その管理については利用者でお願いをしています。行政が入ってしまうと行政に頼りきりになってしまう場合があります。戸別収集については費用がかかりますので、それに見合う歳入を確保する必要があり、家庭ごみ有料化の歳入を充てることになると思います。
- 委員 お金がかかることはわかっています。集積場の持ち回りができない場合もあります。お金がかかるからだめではなくて、モデル地区でスタートするなどすべきです。
- 事務局 家庭ごみ有料化はごみを減らすことが目的となります。有料化導入により一時期ごみ減量になってもらいバウンドしてごみ量がもとに戻るケースがあります。
- 会長 ごみの現状について一通り学びましたが、今後はどんな風に議論を進めていきますか。
- 委員 ここに日程案がありますね。
- 会長 今回、2つの分科会に分かれてみてはいかがかと思います。1つはパンフレットやホームページの作成による情報提供のあり方についてであり、一方通行の啓発となります。2つ目は、懇談会や説明会などで話し合い、直接対話をしながらの啓発となります。この2つに分けてはいかがでしょう。
- 委員 この2つの分科会でよろしいと思います。分科会は委員が選んでよいのでしょうか。
- 委員 分科会のまとめ役が必要ですね。
- 会長 前回の審議会でも会長、副会長などがまとめていました。では各委員の希望を取りたいと思います。
- 事務局 ー委員が分科会を選択ー
- 事務局 近隣市の窓口配布パンフレットや市内にある団体や学校の情報、例えば学校の総合学習の内容について、次回までに資料を揃えたいと思います。
- 会長 分科会の1つは情報提供のあり方部会とします。もう1つを市民協働啓発活動推進部会とします。では次回の日程を決めたいと思います。次回は3月25日(水)午後2時からといたします。場所は市役所6階大会議室となります。次回までに用意してもらいたい資料などはありますか。
- 委員 各大学のごみの分別がどうなっているか知りたいです。
- 会長 次の議題に移ります。事務局報告からお願いいたします。
- 事務局 それでは、5点ほど報告させていただきます。第1点目に第8期小平市廃棄物減量等推進員(愛称:クリーンメイトこだいら)について、委嘱式及び第1回推進員会議を行

いました。今後地域でのごみ・資源の分別や集積場の管理等について2年間お願いすることとなります。2点目に不法投棄監視ウイークについて、例年実施しております不法投棄監視ウイークを12月に一週間実施いたします。クリーンメイトのご協力をいただきながら、早朝から集積場の監視を行います。3点目に年末の臨時収集について、今年度も年末臨時収集を行います。4点目に落ち葉のリサイクルについて、落ち葉のリサイクルの推進とごみ減量化を図ることを目的に、今年度から落ち葉リサイクル袋の貸与を開始いたしました。3000枚のプリントした袋を用意し、希望の方に貸与しております。この袋は各自保管いただき毎年使用するか、ごみ減量対策課に返却していただくかの扱いとなります。5点目に小平・村山・大和衛生組合の小金井市の可燃ごみの受け入れについて、平成19年4月から受け入れを行っていますが、「多摩地域ごみ処理広域支援協定」に基づき、継続して受け入れをするとの報告がございました。以上です。

- 委員 次回までの資料として不法投棄に関する条例を用意していただきたい。
- 会長 その他として2回の施設見学会を行いました。それについての質問などありますか。
- 委員 ごみの処理能力が限界に来ているのではないかと、いずれはごみがあふれるのではないかと。最終処分場の埋立て地に太陽光発電施設を作ってはどうかと思います。
- 委員 リサイクルセンターで働く人のためにも、各家庭で容器の洗浄をきちんとして排出しないといけないと思います。ごみが処理される流れを市民にもう少し理解してもらいたいと思います。
- 委員 エコセメントよりも燃えないごみをなんとかしないと。エコセメント化で発生する高エネルギーの温水を利用した足湯や温泉施設を作ってはどうか。
- 委員 ごみの最終的な行方をみなさんがもっと知るべきだと思います。
- 委員 エコセメント化で発生する高エネルギーの温水を利用した足湯や温泉施設を作ってはどうか。
- 委員 リサイクルの流れがどうなるか知るべきで、そうすれば分別ルールを守ってもらえるようになるのではないかと。
- 会長 本日はこれで終了いたします。